

英字新聞の読み方 基礎編その6

P a r t 6

◆副詞の役割をする～ing

文章全体を実に簡潔にして多くの情報を効率的に文章にまとめることができる分詞構文としてこの形が多用されます。分詞構文は接続詞と動詞の役を兼ねて副詞句的な働きをします。たとえば、**Living** next door, I know him well. (隣に住んでいるので、私は彼をよく知っている) では、**Living** (=As I live) next door と分詞で始まる句が後に続く主文を修飾します。このように分詞が文頭にくるケースや文末、文中で使われることもあります。では次の例文から見てみましょう。

例文 8

A strong aftershock with a preliminary magnitude of 7.0 jolted east and northeast Japan on Monday, **killing** one man, **disrupting** vital cooling operations at the crippled Fukushima nuclear plant, and **knocking out** power to about 220,000 households.

(ヒント) 太字はすべて文末に置かれるケースで、因果関係を時間経過にしたがって描写するニュース英語の典型例です。ですから「～が起こり、その結果～となった」と訳すことができます。付随する状況を簡潔に説明する副詞的な働きをしています。

(語い) A strong aftershock 強い余震、with a preliminary magnitude 速報値～マグニチュードの、jolted 揺さぶった、killing 死亡させ、disrupting 中断させ、vital cooling operations 重要な冷却作業、the crippled 運転不能な、knocking out ～を不通にして、power 電力、households 世帯

(前から順に訳すと) 速報値マグニチュード 7.0 の強い余震が、日本の東部と東北を揺さぶった、月曜日、(その結果) 一人の男性を死亡させ、運転不能な福島原発の重要な冷却作業を中断させ、約 22 万世帯への電力を不通にした。